

# 石田漁港(黒部市・第1種)



- 漁港の所在地 黒部市浜石田
- 漁港の指定 昭和59年12月27日 農林省告示第2487号
- 漁港管理者の指定 昭和60年1月8日 富山県告示第11号
- 沿革

石田海域は、天明年間に既に夏台網、樽網、高縄網、大高網が行われ、明治以降も引き網が盛んに行われたが、根拠地となる漁港がないため漁業の発展が阻害されていた。地元の強い要望を受け、昭和55年に調査を開始し、昭和59年に漁港の指定を受けた。第7次整備計画から改修事業として事業着手し、昭和62年には、漁港内での漁船と遊漁船等との利用の調整を図り、漁業と海洋性レクリエーションとの調和ある発展を目指す漁港利用調整事業を全国で初めて導入した。第8次整備計画では、外郭施設、係留施設等を整備し、平成3年6月に漁港の開港、平成4年10月に石田フィッシャリーナの供用を開始した。平成5年には漁港環境整備事業による釣り栈橋の整備も行い、漁業振興、地域の活性化の核としての整備を進めた。第9次整備計画では港内静穏度対策として沖防波堤の整備を行った。

平成18年には地域再生計画の認定を受け、港整備交付金により釣り栈橋の補修を行った。

新第3次長期計画においては、漁港施設機能強化事業による防波堤改良と航路付替え、産地水産業強化支援事業によるフィッシャリーナの拡張を行っており、平成28年3月に石田フィッシャリーナ拡張部の部分供用（陸域39隻、水域45隻）を開始している。